

2023年1月
新年号

津軽保健生活協同組合

藤代健生病院

地域連携室だより



No.18



写真提供：名誉院長 坂本 隆

～ 理念・使命 ～

藤代健生病院 理念

1. 患者様との共同の営みとして、医療を行う。
2. 「医療の安全」「医療の質の向上」に努める。
3. 「人間らしく生きる権利の回復」を目指す。

藤代健生病院 使命

- ・ われわれの病院は、病気や障害があっても社会生活から離れることなく普通に生活を出来るように支援する。
- ・ 地域生活する能力を再獲得できるよう援助やりハビリシステムを作り上げ、さらにより良い効果的システムを探求する。



新年のあいさつ



院長
関谷 修

明けましておめでとうございます。

さて、2021年12月に新型コロナウイルス感染症治療病棟を開設して1年以上が経過しました。この間、多くの感染された方々を受け入れ、津軽地区の新型コロナ治療体制に多少ではありますが貢献することができました。

今後は、本来の精神科医療にさらなる努力を傾けたいと存じます。これまで通り、統合失調症、気分障害などの患者さんや、活発な精神症状を呈する認知症の方々に対しては十分な対応に努めてまいります。また、発達障害、各種依存症、児童思春期事例に関しても積極的に取り組んでまいります。そして、日本全体の精神医療の質が少しでも底上げされるような社会的アプローチにも関わって行きたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



総看護長
鳴海 由紀子

新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍になり、3年目を迎えた年となり、ようやく社会活動が本来の姿になろうとしています。この間、当院では地域医療機関、関係機関の皆様のご協力のもと、県内でも数少ない精神科での新型コロナ重点医療機関を立ち上げ運営してきました。精神疾患を抱える方が、新型コロナに罹患しても当たり前治療を受けられる事、受療権を守る事が当院の大きな役割であると、職員全員が認識した機会となりました。

これからも当院の使命である、地域でその人らしく生活する事を支援するために職員一丸となって、活動して行きたいを思っております。



室長
吉田 宏美

コロナ禍の終息未だ見通せず、ロシアウクライナ戦争は長期化、不況の中で国防予算のみ大幅増額閣議決定、等々の苦境の中で新年を迎えることになりました。

当院では2021年12月より新型コロナ治療病棟を運営しています。2022年には院内感染も経験しました。コロナに感染したり濃厚接触者となったため本人が受診出来ず、代理受診や電話再診で対応せざるを得ない例を多数経験しました。

人間関係の希薄化(とその反動としての極端な濃密化)の長期的進行が、コロナ禍の中でさらに加速していると感じます。そうであればこそ人間関係の再構築(仲間作り)が喫緊の課題だと思われまます。

当院地域連携室は、新たなコミュニティの創造を目指して、今年も活動して参ります。



「精神保健指定医を取得して」 医師 松尾 和佳子



2016年4月に藤代健生病院に着任し専門研修を開始していましたが、このたび専門医・指導医の取得に続き、精神保健指定医を取得することができました。

これまで様々な患者様に対応させていただきながら、中には力量不足から期待に応えられない場面もあったかと思えます。指定医取得に向けた研修の中で、精神医療の歴史、人権、また指定医が担う役割の重要性、責任などたくさんを学びながら、精神科医としてのあり方、今後の進むべき道など様々考えました。そしてまた、すでに目の前の患者様のために全力を尽くし自己研鑽していくだけではなく、社会全体に視野を広げて医療を行っていかねばならない立場になっているのだということにも気付かされました。

私が精神科医になってからのこの数年の間にも、当院も社会もめまぐるしく変化してきました。もちろん私自身も大きく変化しました（良い意味で変化したはず!）。この変化に柔軟に対応しつつ、守るべきものはしっかり守りながら皆様のお役に立てればと思います。まだ至らぬ点はありますが、これからも全ての経験からより多くを吸収し、これまで以上に責任を持って診療を行っていく所存です。

よろしくお願いたします。



事務長
奥瀬 昭彦

着任のあいさつ

2022年8月から事務長になりました奥瀬昭彦と申します。

1992年4月に藤代健生病院に配属され5年後に異動してからはずっと診療所活動の現場に配属されました。

この度、ご縁があり古巣に戻ることができました。25年の月日はあっという間でしたが様変わりした病院内をみると、よく浦島太郎になった気分と感想をいう人たちがいますが、何となく自分も同じ気分になっています。

新入職員時代に大変お世話になった病院はこれからリニューアルを控えており、あの時の恩を返す絶好の機会であります。自分なりに恩返しができるよう邁進してまいります。新米事務長ゆえにご迷惑をおかけすることが多々あると思っておりますがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



精神保健福祉士
中村 花奈子

連携室の新たな仲間

2022年6月より、法人内院所異動・2人の産休育休を経て約10年ぶりに藤代健生病院地域連携室に戻って参りました中村花奈子です。

趣味は整理収納と、時間を見つけてはサウナで整う事です。

病棟を担当させて頂いていますが、久しぶりの精神科の退院支援は社会資源が増えた事で退院先の選択肢や協力者が多くなった印象を受けています。協力者の方々との連携や様々な状況を踏まえて、その方らしい支援をコーディネートしていけるよう努めて参ります。

時短勤務をさせて頂いているため、一人前に業務をこなせないもどかしさを感じながら、また藤代連携室で働ける事を楽しんでいきたいです。

診療のご案内

※予約制になっております。

2023年1月1日現在

★外来診療案内 精神科一般 アディクション外来（ア）

	月	火	水	木	金	土
午前 8時30分 ～11時30分 まで受付	坂本（ア） 吉田 関谷 千石	坂本 吉田 関谷 千石	坂本 森山 松尾	坂本（ア） 関谷 千石	吉田 森山	毎週 交代で 診療します
午後 13時00時 ～15時30分 まで受付	吉田	吉田 千石	坂本 森山	松尾 関谷 千石	吉田	

※アディクション（アルコール、ギャンブル、薬物などの依存症）

★はじめての方は地域連携室へご相談下さい。

★医療活動

- ・デイケア・ショートケア
- ・作業療法
- ・精神科訪問看護
- ・家族教室 第2（土）開催
- ・家族会（ひまわり会）偶数月第3（金）開催
- ・認知症看護相談室（予約制）
- ・無料低額診療事業

★入院診療案内

一般精神科病棟 精神科急性期治療病棟 認知症疾患治療病棟（現コロナ病棟）

★MAP



【病院へのアクセス】

車

東北自動車道 大鰐/弘前 IC または
黒石 IC から30分

路線バス

弘前駅 弘南バス藤代営業所行
藤代停留所下車[向かい]
藤代営業所下車[徒歩3分]

組合員バス（無料）

★お問い合わせ 津軽保健生活協同組合 藤代健生病院 地域連携室

〒036-8373 青森県弘前市大字藤代2丁目12の1

TEL: 0172-36-5181 (代表) FAX: 0172-36-2823